



GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第136号 2019年4月発行

巻 頭 言

祭 り

公立藤岡総合病院 関根圭介

職能団体である一般社団法人群馬県作業療法士会（以下、県士会）の活動には様々なものがあるが、今回は少し視点を変えてお伝えしたい。広く県民の健康に寄与するための県士会活動のひとつに学術研鑽があり、学会開催もそれにあたる。当県士会は3ブロックに分け各ブロック持ち回りで学会運営に当たっている。日々の忙しい業務を縫って無報酬にもかかわらず、毎年素晴らしい運営をしてくださる学会長はじめ運営委員の皆様には頭が下がる思いである。しかしながら、自分の時間を削っての活動に対しての報酬は必要なものであるし、更に継続していくためには不可欠だと考える。

そこで「祭り」である。次につながる糧としての報酬について、多くの人が「祭り」には参加したことがあると思うので考えを述べたい。リオのカーニバルでは当日に向けて煌びやかな衣装を準備するなどお金も時間もかけて練習すると聞くと、私の住む伊勢崎市では区ごとに子供太鼓の山車があり伊勢崎祭りが近くなると大人も子供も公民館等に夜集まって厳しくとも自主的に参加して練習が行われている。これらから、帰属するコミュニティの中で「よいものを創る」や「成し遂げる」といった報酬が糧となり、このような祭りは毎年繰り返されているものと考えられる。さらに、学会開催で苦楽を共にするというのは、人と人をつなぐ場にもなる。第10回の県学会での私の経験であるが、当時あまり面識のなかった第一病院の柴田さんと若宮苑の児玉さんと業者展示を任された。大変な思いでしたが、当時としては記録的な13社に展示していただけることとなり、学会終了後に次も一緒に仕事がしたいと三人手を取り合ったことを覚えている。

同じように、皆で何かを成し遂げる県士会活動で近年力を入れているもののひとつに、リレーフォーライフジャパンぐんまがある。前回のニュースにも書いたが、がんサバイバーや家族、そして関係団体が参加しているので、広く県民への広報活動の場でもある。しかし、24時間リレーをつなぐという活動やブースの運営で出会う様々な人との出会い自体がぞくぞくさせるものがあると感じるのは私だけだろうか。日々の業務とは違った体験のできる場所、非日常を味わえる「大人の文化祭」である。3年前、病院の業務として参加した同士の群馬中央病院の藤井さんとは、次は県士会として参加しようかと真夜中に歩きながら話して翌年から県士会の参加がスタートした。そういった仲間が年々増えている。他の県士会活動でも見方を変えれば、面倒くさいだけではない自分の糧となる「報酬」はあちこちにあるのではないだろうか。

…祭りは楽しんだもの勝ちである。

会員の学術活動支援企画

県士会学術部では、第53回日本作業療法学会(福岡)へのスライド、ポスター支援を行っています。作成に悩んでいる会員がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。喜んでお手伝い致します。

(申し込み期限:2019年5月31日)

また、会員の学術活動を支援する、半年コースの勉強会も企画しています。次回のコースは2019年7月にスタートする予定です。多くのご応募をお待ちしています。(申し込み期限:2019年6月30日)

【目的】

日々の臨床で感じる疑問を①具体化、言語化し、②学術研究に適した研究デザインを構築、③正しい統計処理を実施、④学術発表の場で発表できる能力を備えた会員を育成する。

【対象】

学会発表、学術論文作成に関心のある県士会員10名
(OT学会だけではなく他の学会にも対応します)

【スケジュール】

7～2月:月1回の勉強会(全日程の参加を原則とし、日時は参加者決定後に調整)

会場:群馬大学 時間19:30～21:00

(翌年)7～8月:学会発表前の原稿作成

	OT学会	一般的応募スケジュール	当勉強会
2019年 7月		テーマの検討	アイデアの具体化
8月			〃
9月			「文献検索」解説
10月		発表内容の検討	データ収集
11月			〃
12月			「統計ソフト(SPSS)使用」解説
2020年 1月	演題応募	演題原稿作成・応募	「演題登録原稿作成」解説
2月	演題応募		〃
3月			
4月			
5月	結果通知		
6月			
7月		発表原稿作成	発表原稿作成
8月			〃
9月	発表学会		

【前年度実績】

日本作業療法学会:5名、日本リハビリテーション医学会学術集会:3名

【担当者】

学術研究グループ 近藤健(公立藤岡総合病院)、李範爽(群馬大学)

連絡先:n-reha@fujiooka-hosp.or.jp

作業療法フェスタ2019を終えて

日高病院 リハビリテーションセンター 回復期リハビリ室 中澤浩幸

今年度も高崎イオン様にて作業療法フェスタを実施致しました。作業療法フェスタは地域の方に実際に作業活動を提供し、少しでも作業療法の事を知ってもらい、「作業療法」という言葉だけでも覚えて頂けるように取り組んでいます。また今年度は初めて学生ボランティアの方々にも参加して頂きました。当日は広報部18名、学生ボランティア9名と例年より多くのスタッフに協力して頂きました。

今年度も昨年度と同様に人気であったプレスレット作りブース、割り箸鉄砲作りブース、体力測定ブース、ぐんまちゃん、片麻痺体験ブース、スタンプラリーを実施致しました。スタンプラリーの景品として、GAOTのロゴが入ったトートバッグとお菓子の詰め合わせをお配りしました。約300名の方が来場され、スタンプラリーは昨年度より参加される方が多く、130個作製したトートバッグは全てお配りできました。例年よりスタッフが多かったのですが、各ブースの賑わいがすごく人手が足りなくなるくらい大盛況でした。今年度も来場者、スタッフ共に笑顔が多く見られたように感じました。

また今年度はイオンモール様が展開している「イオンモールウォーキング」を実際に参加されたスタッフが体験致しました。「イオンモールウォーキング」とはイオンモール内に約1700メートルのウォーキングコースが設定されており、買い物しながら健康増進させる取り組みの一つです。全国のイオンモール全てにコースが設けられているとのこと。実際に体験してみると約30分程度の歩行時間で、色々な店舗を見ることもでき、非常に楽しいものでした。終えてみると思ったより疲れもあり、日頃の運動不足を痛感致しました(笑)。買い物しながら運動ができるなんて正に作業療法ではないかと思います。是非皆様にも体験して頂き、ご家族やご友人、職場、何よりも患者様へご紹介頂ければ幸いです。

今後も作業療法フェスタを始めとする広報活動を通して多くの方に「作業療法」を知って頂けるよう継続して広報活動をしていきたいと思えます。来年度も実施していきますので、是非皆様にご参加頂ければ幸いです(是非広報部へ入部を!!)。今後とも何卒よろしくお願い致します。



協力して準備!
当日はスタッフも
楽しめました☆!



絶大な人気。
ぐんまちゃんも…



他施設のOTと
繋がる醍醐味！



アクティビティで
OTを体験！

大人も子供も真剣です！
学生会員がボランティアで着てくれました！
助かる！！



関わりが
とても
楽しいです！



買い物しながら健康増進！
OTとのコラボも期待…？



イオン
ウォーキングを
モニタリング中

公立七日市病院

【病院の概要】

公立七日市病院は、公立富岡総合病院と在宅医療支援センターとともに富岡地域医療企業団が運営している公立病院です。富岡地域医療事業団とは、富岡市と甘楽町で構成されています。当院は平成6年4月に開設されました。江戸時代加賀百万石の大名前田利家の5男前田利孝が七日市藩を立藩しましたが、その領地内に病院が建てられたことから命名されました。病院は富岡市の中心地に位置しており、西には妙義山と浅間山を望め、四方を小高い緑の丘に囲まれ、豊かな自然に恵まれた場所にあります。また、平成26年6月21日に世界文化遺産に登録された富岡製糸場は当院から徒歩で約10分のところにあります。

当院は、患者中心の医療を基本理念とし、病床数は障害者施設等一般病棟55床、地域包括ケア病棟57床、回復期リハビリテーション病棟57床となっております。富岡甘楽地域広域 リハビリテーション広域支援センターの指定も受けています。

【リハビリテーション部門】

理学療法士20名、作業療法士19名 言語聴覚士5名

【作業療法部門の紹介】

作業療法部門では、一般・地域包括ケア病棟部門と回復期リハビリテーション病棟部門に分かれ患者様の病期、地域の特徴に合わせたリハビリテーションを提供しています。リハビリテーション広域支援センターを通して、地域に講師の派遣事業、リハビリ専門職研修会なども行っています。診療業務以外でも、MTDLPを使用したディスカッション形式の症例検討や実技伝達講習会を通して、質の向上を目指して取り組んでいます。スタッフは、男性4人、女性15人と男性が少なめですが和気あいあいと情報交換を行なえる環境です。リハビリテーション部は、職員がやりがいを感じられ、働きやすい職場環境作りを推進している為、各年齢層が自分のライフスタイルに合わせ働く事ができます。OTの「わ」を合言葉に、スタッフ全員で協力し合いながら日々業務に取り組んでいます。



大学院社会人学生募集中



当研究室は、運動生理学手法を用いた上肢機能解析を中心に、身体障害作業療法分野全般の研究を行っています。ベテランから新人まで多くのOTが仕事と研究を両立、修士・博士課程に在籍しています。身障分野の臨床研究に関心のある方は、ぜひ大学院で自分の可能性に挑戦してみたい方は、ぜひ大学院で自分の可能性に挑戦してみたい方は、ぜひ大学院で自分の可能性に挑戦してみたい方は、ぜひ

毎週木曜日の勉強会は一般公開していますので、ご興味のある方はご見学下さい。

群馬大学大学院 保健学研究科
教授 李範爽
leebumsuk@gunma-u.ac.jp

！仕事以外の時間も大切に過ごしたい方 私たちと一緒に働きませんか？

PT・OT募集 ①訪問看護ステーション所属のリハビリ業務 ②デイサービス所属のリハビリ業務

決められた時間内に効率よく働き、家族と過ごす時間や自分のための時間を大切にしたい人が働きやすい環境が整っています！

勤務地

- ① 前橋・高崎・渋川・伊勢崎エリア または 桐生・みどり・太田・足利・大泉エリア
- ② 桐生市 または 前橋市

給 与

基本給＋資格手当＋実績手当
260,000円～
(※社員・パートは勤務時間により変動)
経験考慮いたします

休日・休暇

- 年間120日以上
- 土・日・祝日 (12/23, 成人の日を除く)
- 夏季休暇、年末年始
- 特別検診等休暇、参観休暇、介護者しんで休暇
- パパ産休など独自の特別有給休暇
- 年次有給休暇取得率 **75%** (平成27年度実績)

勤務形態／勤務時間

- 正社員 / 8:30～17:30 ※8:00～18:00の間で調整可
- 準社員 / 8:30～17:30のうち4.5時間以上
小学校卒業までの子を持つ親または同居家族の介護を行っている場合
- パート / 8:30～17:30のうち3時間以上

待遇・福利厚生

- 各種保険加入 (健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金保険)
- 退職金制度あり
- 賞与年3回 (昨年度実績)
- 保育士常駐の託児所内託児室
- 訪問所属は直行直帰制度あり
- フィットネスジム割引
- 旅行手当 など

研修・キャリアアップ支援制度

- 入社後半年間のプリセプター制度
- ビジネスマナー研修、メンタルヘルス勉強会、社長勉強会など勤務時間内の様々な勉強会
- 症例発表、職種別勉強会など専門分野の研修
- 外部研修参加費、交通費、宿泊費の補助 (回数制限なし)
- 資格手当上乗せ: 対象資格は2017年度現在 80種類以上
- 試験対策勉強会など、新たな資格取得をサポート
ケアマネ、介護福祉士、社会福祉士など毎年合格者がでています！

ココロの特徴

- ★「お互い様」の風土が根付き、急病など突然のお休みへのフォロー体制が整っています。
- ★決められた時間内に効率よく働くことを重視。
1ヶ月あたりの平均残業時間は1時間未満です。
- ★有休を積極的に取得し、たくさん遊びに行くことを推奨しています。

お問い合わせ先

Coco-Lo
群馬県桐生市相生町2丁目261-3
☎http://coco-lo.net/

☎0277-55-5422 担当:しかり
受付時間/8:30～17:30 (土・日・祝休)
働き方改革への先進的な取り組みで国や県からの受賞実績多数。ぜひ一度弊社ホームページをご覧ください！



研修や子育て支援が充実しているため、ブランクのある方や経験年数の短い方も安心して働けます！入社後にプリセプターがつき、訪問では始めのうちは先輩スタッフが同行するので、初めて訪問業務を行う方も安心ください。

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した...などなど、皆様からの投稿を募集しております。
どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: dc_nanohana@yahoo.co.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

出会いと別れの季節...新社会人の皆さん、国家試験合格おめでとうございます。今月より新年度となり、広報部としての活動も新しいスタートとなった。

OTとしてもまた1年経過したことになるが、昨年度と何かが変わったのか、かわることができたのか毎年のことながら疑問に思っている。毎年増えてくる後輩たちに焦りも感じている。国家試験の話題を聞きながら、懐かしさを感じると共に初心を忘れてはいけない。と強く思っている。

皆さま、今年度もよろしくお願い致します。

S

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 中村 真美、関 仁紀、下田 幸、吉澤 一郎 印刷 || 星野印刷株式会社